

取組名：

竹を活用した地域活性化イベントの促進に向けた
実験的取り組みと、竹林管理に対する意識啓発
～竹イブニングの開催を通じて～



団体名：特定非営利活動法人 京都発・竹・流域環境ネット
役職名：理事長
氏名：吉田博次

取組の目的、目指していること：

■にぎわいづくりの機会

- ・竹の里センターをはじめとする、賑わいが低下するサブセンターに多くの近隣住民が訪れる機会を作ること
を目的として洛西ニュータウンらしいイベントを実施
する気運とノウハウを高める

■竹の活用促進・放置竹林問題への対応

- ・イベントにおいて竹を活用したプログラムの実施や、
竹の活用方法に関する情報を発信することで、竹の活用
促進を図るとともに、放置竹林の問題やその管理活
動に対する関心を高める。

令和元年度の主な活動内容：

■実施イベントタイトル 「竹の里たけイブニング」

■実施日時：令和元年11月2日（土）
午後3時～午後8時

■場所：竹の里センター

■参加者状況：約100人

■事業内容：

竹のジャングルジム、竹のコップで乾杯、芝生広場設置、竹を使ったエクササイズ、野菜・花・はちみつの販売、大スクリーンで動画鑑賞

9月23日に予定しておりましたたけイブニングは台風の上陸が予想されていたことから、中止させて頂いてまいりました。
中止のご案内が十分に周知できずにご迷惑をおかけしてしまい申し訳ございません。このたびは延期して実施することとなりましたので、どうぞお楽しみください。

竹の里 たけイブニング

竹を使ったエクササイズをみんなで行うよん♪
(午後3時半頃より)

竹の里わくわくマルシェ前夜祭
「明かりで染まる溶西けやき通り」と連携して開催します！

野菜や花のお店が出るよ！

11月2日(土) 午後3時～8時

(雨天時・荒天が予想される場合には中止する場合があります)

会場：竹の里センター
西京区大原野西竹の里町1丁目19-4

当日の開催状況など、こちらでチェック！
<https://www.facebook.com/竹の里たけイブニング>
-114924083235473/

竹のジャングルジムでみんなであそぼう！

竹のコップで乾杯しよう！
ソフトドリンク・ビールもあるよん

プログラム

- ・竹のジャングルジムであそぼう
- ・竹のコップで乾杯しよう
- ・芝生広場が出現！ピクニック気分！
- ・竹を使ったエクササイズ
- ・野菜・花・蜂蜜の販売
- ・大スクリーンで動画を楽しもう！

竹の里センター

駐車場はございません。徒歩・自転車・公共交通機関でお越し下さい。

主催：特定非営利活動法人 京都発・竹・流域環境ネット、竹の里商店会 連絡先：090-8466-2948（長谷川）



準備風景





当日の様子





竹製品や農産物等の販売



竹によるイベント設営
(竹の穂垣)



竹によるイベント設営
(竹のジャングルジム)

当日の様子

当日の様子 (夜の情景)



当日の様子

(同時開催の「明かりで染まる洛西けやき通り」)



活動において苦勞したこと、苦勞を乗り越えた対策など：

■サフセンターの活性化との関係性を考えることが必要

- 商店の数が少ない竹の里センターにおいて、今後の活性化を考える際に、「人のにぎわい」だけが高まることでは、商業的な活性化につながりにくく、竹の里センターの位置づけや地域コミュニティにおいて期待される機能などを考えることが必要である。

■地域全体の取組とするための運営を考えることが必要

- そのため、「人が集う」ことだけを狙うのではなく、地域住民等が竹の里センターの「広場」や「会館」をうまく活用して地域全体の活力を生み出すための取組が必要であるため、次回以降、運営側に住民等の参加を促していくことが考えられる。

令和元年度の活動の成果：

■ネットワークの広がり

- 竹の里わくわくマルシェの前夜祭として開催することとなり、今後の竹の里センターの活性化に向けて人材のネットワークが生まれた。
- 「明かりで染まる洛西けやき通り」との同時開催となり、相互に集客上の相乗効果が生まれた。

■ニュータウンにおける夜の過ごし方の提案

- 夜の時間帯に一定の来客があったことから、夜のにぎわいが住民にも求められていることがわかった。
- 商店街との連携による取組として、今後の竹の里センターの活性化に向けた実験的取り組みとして連携ができた。

令和元年度の活動の成果：

■竹を通じた交流・つながり

- ・竹をふんだんに活用したイベントを実施したことで、今後、同様の設営を他のイベントでも活用できることが確認されたため、地域資源である竹の利用促進につながることを期待される。また、特定非営利活動法人京都発・竹・流域環境ネットの活動のPRの場ともなったため、竹林管理に対する市民の関心を高める場ともなった。

今後の活動展望：

- ・ イベントの継続的实施
- ・ 他のサフセンターでの竹の活用促進
- ・ サフセンターの本質的な活性化につながる取組の検討
- ・ 竹林管理への参加のきっかけづくり

など